

# 2020年度 第150回 東海大学男女バレーボールリーグ戦(代替) 秋季大会 大会要項

主催 東海大学バレーボール連盟  
後援 中日新聞社(予定)  
中日スポーツ(予定)  
特別協賛 株式会社ミニミニ(予定)  
株式会社ミニテック(予定)

- 開催期日 2020年10月3日(土)～
- 会場 各大学体育館及び公設体育館 ※各部において決定する。
- 参加資格 東海大学バレーボール連盟を通じて、(公財)日本バレーボール協会に正式に登録された大学の単独チームとする。
- 競技規則 2020年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。  
但し、本連盟において別の定めのある場合はこの限りではない。
- 競技方法 男子1部:8チームトーナメント戦(敗者トーナメント戦導入)  
女子1部:8チーム1回戦総当たり戦(但し、感染拡大等開催困難な場合はトーナメント戦開催とする)  
男子2部以下:各部トーナメント戦(敗者トーナメント戦は無しを推奨)  
女子2部以下:各部トーナメント戦(敗者トーナメント戦は無しを推奨)  
※自動昇格・入替戦は実施しない(試合数減の措置)
- 競技日程 各部において決定する。
- 使用球 男子:ミカサ製(V300W) 女子:モルテン製(V5M5000)
- 出場手続き  
・Googleフォームより、仮参加申込みを行う。(ホームページより配布したURLから参加の申請を行うこと。)  
※回答のコピーが送信されたか確認をしてください。  
申込み期限:2020年9月9日(水)  
・提出方法  
東海大学バレーボール連盟ホームページ<http://www.tcvba.org/>から、Excelデータをダウンロードし、作成すること。  
提出書類は締切期日までに東海学連執行部の以下のアドレスまでメールにて提出すること。  
東海大学バレーボール連盟 mail://togaku-somu@nifty.com  
件名「M(男子)orF(女子) ○○大学 東海秋季大会申込み」  
・提出書類(メール送信)  
○選手登録用データ(Excelデータ)  
※Googleフォームにて参加申込の申請後、以上1点の書類が学連執行部に届いた時点で申込完了とする。  
申込み期限:2020年9月14日(月)  
(申し込みに必要な書類及び参加料は、締切期日までに手続きを済ませること。  
原則として締切期日に間に合わない場合はこれを認めない。)
- 参加料 現在調整中
- チーム編成 1チームは部長1名、監督1名、コーチ1名、トレーナー1名、主務(マネージャー)1名、選手14名以内の計19名以内(但し、部長は教務や総務など大学に関わる者に限る(学生不可)。主務(マネージャー)は当該学生であること)
- 代表者委員会 1)日 時 2020年9月18日(金)  
2)場 所 オンライン(Zoomを使用)  
\*各チームは代表者1名以上は必ず出席すること。(欠席する場合は委任状が必要となります。)
- 代表者会議 1)日 時 2020年9月26日(土)  
2)場 所 オンライン(Zoomを使用)  
\*各チームは代表者1名以上は必ず出席すること。
- その他 (1)棄権が生じる場合は、必ず事前に棄権届を提出すること。  
(2)部長・監督・コーチ・トレーナー・主務(マネージャー)のマークは所定の位置に規定のものを用いて必ず着用のこと。  
(3)選手は申し込み用紙に記載した通りの番号をつけること。それ以外の番号は、原則として認めない。  
(4)参加申込書の公式記録員欄には審判講習会参加者を記入すること。  
(5)大会要項は、代表者会議の際に必ず持参のこと。  
(6)代表者会議に出席できない場合は、必ず前日までに委任状を大会事務局へ提出すること。  
(7)大会に関する問い合わせ先  
〒457-8530 名古屋市南区滝春町10番地3 大同大学内  
東海大学バレーボール連盟  
TEL 090-9026-8534 090-2617-9066 ホームページ<http://www.tcvba.org/>

## 14. 新型コロナウイルス対策

### 開催前提条件

- ①2020年9月25日時点で、東海4県下内でCOVID-19感染症「緊急事態宣言」が発出されていないこと。
- ②2020年9月25日時点で、大部分の大学クラブ活動が開始され大学の体育館が使用可能であること。
- ③秋季リーグ戦開催期間中に「緊急事態宣言」または「自粛要請」等が発出された場合は、その時点で中止も検討する。
- ④JVA「バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン(2020.7.7更新版)」の遵守(要約)
  - 1)体育館内での大会は、当面の間、試合用コート1日1面当たり4チームを超えない範囲での参加に限る。
  - 2)セットごとの換気など適切な感染防止対策を講じる。
  - 3)「1)」について、体育館の設備(アリーナ面の広さ、観客席など)が十分に確保できている場合は、主催者側の判断で参加数を拡大できる。
  - 4)その他「感染防止策チェックリスト」を厳守(主催者側及び各チーム)
  - 5)選手及びチーム関係者は、大会参加2週間前からの体温、咳や喉の痛みの有無、県外への移動等を記録する。
  - 6)ラインフラッグ、マスク、消毒液は各チームが持参する。
  - 7)大会中は、毎日検温と体調チェックを行い、本部に報告する。
  - 8)試合終了毎にボール、イス、アップゾーン、ラインフラッグ等の使用したものを各チームで消毒する。
  - 9)補助役員はマスクを着用する。(但し、熱中症に配慮して適宜外して構わない)
  - 10)大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は学連事務所に速やかに報告する。

### 開催統一事項

- ①審判:主審は原則として派遣公認審判員、副審は各大学学生公認審判資格者
- ②パンフレット:「秋季リーグ戦」は、パンフレットを発行しない。(試合形式の未確定、準備期間不足)
- ③自動昇降格・入替戦:実施しない(試合数減の措置)
- ④大会中に選手、チーム関係者及び大会役員等に新型コロナウイルス感染症が発出した場合は、原則その時点で、大会を中止することがある。(審議・判断:理事長、副理事長、競技委員長)
- ⑤大学の決定により参加できないチームが出た場合は、「棄権」扱いとする。
- ⑥秋季リーグ戦は、原則無観客で行う。(観客席は、ソーシャルディスタンスを履行=三密防止策)  
(試合該当チーム以外の体育館内での観戦は許可しない。[但し、補助役員は除く])
- ⑦試合形式:1体育館1面(最大縦4試合)\*試合間は、40分程度(換気要)
- ⑧その他開催及び運営等に疑義が生じた場合は、その都度審議し判断する。  
(審議・判断:理事長、副理事長、競技委員長)